

種別

オスは前翅と後ろ翅の基部から中頃にかけて紫色に輝き、メスではこの輝きがない。



オス



メス

産卵

時期は7月末から8月上旬までが産卵の盛期。母蝶はおもに、枯枝や葉表に卵を産みつける。1頭のメスが産みつける最高卵数は約500個が限度のようである。

生存日数

オスの生存日数は約30日、メスの生存日数は約37日程度である。

オオムラサキの天敵

天敵とは自然界に生存する敵のことで、蛙(かえる)が昆虫を食うとき、蛙は昆虫の天敵。ヘビが蛙を食うとき、ヘビは蛙の天敵ということになる。天敵は1)寄生天敵、2)狩猟性天敵、3)捕食性天敵に分けることができる。これは蝶類全般に当てはまることだが、卵・幼虫・蛹・成虫のそれぞれの時代にいろいろな種類の天敵が存在する。

■卵の天敵

- ①タマゴヤドリコバチ科のキイロタマゴバチ
1卵から20~40頭の子が羽化脱出する。
- ②トビコバチ科の一種
1卵から2~3頭の子が脱出する。

■幼虫の天敵

- ①ヤドリバエ科の一種で、種名ははっきりしていない。体長約3mmで全身淡黒色。幼虫1頭から、ヤドリバエの幼虫1頭だけ脱出。
- ②捕食性の天敵にはクモ類・小鳥類・アリなどがある。

■蛹の天敵

コガネバチ科のアオムシコバチらしいとの同定を得ている。体長約3mm。体は大方黒色で藍色の光沢がある。

■成虫の天敵

寄生性の天敵は知られていないが、捕食性のものはクモ類・小鳥類が考えられる。

ニュー・サイエンス社刊:「オオムラサキの生態と飼育」より転載



オオムラサキの里
鮫川村

鮫川村役場 企画調整課

〒963-8401
福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39-5
TEL.0247-49-3111(内線221) FAX.0247-49-3363
E-mail:samegawa@viora.ocn.ne.jp